

活動レポート

三味民謡ボランティア かえるかい

今回は、三味線と民謡の演奏で施設訪問をしている「三味民謡ボランティア かえるかい」代表 渡辺幸美さんにお話を伺いました！

代表
渡辺幸美さん



1 施設訪問を始めたきっかけは？

ももとは三味線を習う会でしたが、続けていくうちに「三味線を生かせるような何か別のことをしたい」と思い、施設訪問を始めました。みなさんに元気になっていただきたくて活動していますが、聞いてくださるみなさんの楽しそうな顔を見たり、「また来てね」と声をかけていただくと、こちらが逆に元気をいただいています。

2 どのようなところへ？

やすらぎ苑や鼓海園、ひまわり園、はびね周南など、周南・下松・光の19施設へ訪れています。その他、地区のお祭りや敬老会からもお声をかけていただき、年間60件ほど演奏しています。

3 どんな曲を演奏するの？

『上を向いて歩こう』、『千の風になって』といった歌謡曲から、『ソーラン節』『草津節』といった民謡、その他童謡や演歌など、新旧問わずみなさんをご存知の曲を演奏しています。

また、60曲ほどレパートリーを載せた歌詞集を配るのですが、その中からリクエストをいただいたりもしています。



4 歌詞集があると、聴く側は演奏がより楽しめるそうですね。

そうなんです！演奏の際に「みなさんもどうぞ」と呼びかけたとき、一緒に歌ってくださる方が前より増えました。

昨年は周南市ふるさと振興財団の助成を受け、歌詞集作成の他、ピンマイク、ワイヤレスマイクを購入しました。これにより、みなさんの輪の中に入ってやりとりができたり、歌を口ずさんでいる方のそばにすぐ近づき一緒に歌うことができるなど、お互いのコミュニケーションがとりやすくなりました。



5 活動時に心がけていることは？

演奏する側の雰囲気が見ていらっしゃるみなさんにも伝わると思うので、会は仲良く、ほっとする場になるよう努めています。モットーは「楽しく・唄って・元気よく」です。

また、訪問時の気付きを共有し、より気持ちよく過ごしていただくにはどうすればよいか、みんなでアイデアを出し合っています。

6 これからはどんなことを？

聴いてくださるみなさんには、手拍子をしたり、振り付けを踊るなど、一緒に参加できるものが喜ばれます。音楽に乗って楽しい気分になると、普段手足が動かしにくい方でも大きな動きができたりますようです。

ですので、心も体も元気になっていただけるよう、三味線を基本としつつ、バラエティに富んだ演奏を増やしていきたいと思っています。

【問合せ先】三味民謡ボランティア かえるかい
TEL 090-7542-5538 (渡辺)